

入院診療計画書

関節鏡手術を受けられる

()様へ

薬剤師
理学療法士
管理栄養士

2部印
1部：患者ファイルへ
1部：患者様へ

手術日時

#NUM!

AM・PM

時分

病名

年齢

生年月日

受持看護師

病棟

病日	入院日(手術前日)	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後7日目	術後10日目	術後2週目～退院日
日付	#NUM!	#NUM!	#NUM!	#NUM!	#NUM!	#NUM!	#NUM!	#NUM!	#NUM!	#NUM!	#NUM! ~
目標	安心して手術を受けることができる 手術の方法・目的が理解できる	心身ともに安定した状態で手術を受けることができる		痛い時や調子の悪い時などに訴えることができる		退院後の生活について理解することができる					
食事	本日は普通食がでます 必要時特別食となる場合があります	絶食となります 水分摂取は麻酔科医の指示に従ってください		おならが出たら(粥食)より食事開始となります 状態にあわせて徐々に普通食に戻っていきます 病状により特別食を食べられる方は栄養指導を行わせて頂く場合があります							
安静度	特に制限はありません	ベッドの上で安静に過ごします。 ニーブレスという装具をつけます		松葉杖での歩行が可能となります。 状況に応じて徐々に足に体重をかけていきます 術後2日目～5日目にニーブレスを外して装具を装着します。 疼痛に応じて車イスに乗ってもかまいません。		杖なし歩行			自力歩行		
清潔	シャワー浴することが出来ます	シャワー浴をすることができます 義歯・指輪・ヘアピンははずして下さい		週3回を目安に体を拭きます		シャワー浴を行うことができます					
排泄	排便の確認を行い、必要時便処置を行います	尿の管が入っています									
検査	医師の指示により検査があります	血液検査と胸部・手術部のX線撮影をします		血液検査があります		定期的または必要時、血液検査やX線撮影をします					
治療	持参薬は特に指示がなければ続けて飲んでください	持続点滴をします 胃薬を内服していただくことがあります 抗生剤の点滴を行う場合があります		持続点滴をします 抗生剤の点滴を行います 抗凝固剤の内服は医師の指示が出れば再開します		手術後10日目頃に抜糸予定です。					
リハビリ	手術前リハビリがあります			病室でリハビリ開始 リハビリ室でリハビリを行います CPM(機械での運動)を開始します。 0～60度から開始し、徐々に角度上げていき、120度までできれば終わりです。							
処置		手術する部位の毛剃りを行います		消毒を行いガーゼの交換をします。 尿管が抜けます							
説明指導	麻酔科医が麻酔について説明します お薬などのアレルギー歴がある場合はお知らせください 主治医・看護師が手術について説明します 薬剤師から入院中に使用する薬剤について説明があります	手術中、家族の方は病室またはデイルームでお待ち下さい		痛みがある時は、遠慮なく看護師に申し出てください 術後、主治医から手術説明があります		必要時、痛み止めを使います 状況に応じて、予定が変更になる場合があります。 経過が良ければ予定の退院日より早く退院できる可能性があります。 手術後6週～8週でランニングができるようになり、2ヶ月でスポーツ開始できます。 手術後4週～8週を目途に仕事復帰できるようになります。			薬剤師がお薬について説明します 必要に応じてケースワーカーによる医療相談や栄養士による栄養相談を受けることができます。 生活面での退院指導を行います。		